

日本の電話サービスを、変える。

おとくライン

法人のお客様向けサービス

企業にとって、ICT (Information and Communication Technology) の活用は、市場競争力を高める重要なファクターとなってきています。単なるコスト削減・効率化のためのICTから、高度化するビジネス環境におけるさまざまな経営課題を解決するICTへ。ソフトバンクテレコムは、モバイルインターネットの本格的な環境整備やFMC (Fixed Mobile Convergence) の推進など、ソフトバンクグループで通信事業を展開するソフトバンクモバイルやソフトバンクBBとのシナジーを活かし、法人のお客様本位の革新的なサービスを提供してまいります。

1. 固定電話の基本料金がオトクになる
ソフトバンクテレコムの回線を使うので、毎月かかる基本料金のお支払いがこれまでよりもオトクになります。

2. 現在の電話番号はそのまま、新規に「おとくライン」に申し込む場合は電話加入権不要

現在契約しているNTT東日本・NTT西日本の電話番号をそのままご利用いただけます。(番号ポータビリティ) また、新規に固定電話を設置される場合、これまでのような電話加入権は不要です。

3. 複数のお支払いを一本化できる
今まで毎月きていた、NTT東日本・NTT西日本からの基本料金のご請求がなくなります。電話料金のご請求は、基本料金も通話料金もソフトバンクテレコムが一括して行いますので、わずらわしい複数のお支払いは必要ありません。

4. 基本サービスは今までどおり
110番(警察)・118番(海上保安)・119番(消防)の緊急特番への通話(通話料金は不要)や、発信者番号通知サービスなどの基本サービスは今までどおりご利用いただけます。

サービスご提供エリア
日本全域



いままで 「マイライン」などの中継電話サービスの仕組み

「マイライン」、「マイラインプラス」*などで選んだ中継電話会社と、NTTの通信設備を介して電話をつなぐため、NTT基本料金+中継電話会社へのお支払いが発生します。

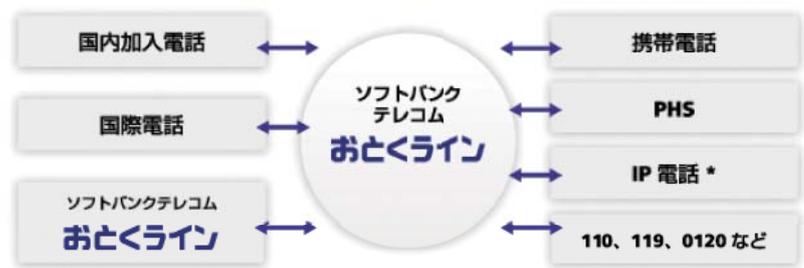


これから ソフトバンクテレコム「おとくライン」の仕組み

ソフトバンクテレコムのネットワーク通信機器を使い、直接お客様どうしをおこなうことができます。NTT交換機を使用しないため、基本料金を含め、お支払いはすべてソフトバンクテレコムのみとなります。



もちろん携帯電話、PHS、IP電話などへの通話も可能です。



*一部プロバイダ提供IP電話サービスではご利用いただけません。



**高齢者施設のコストを削減!
特に満床の高齢者施設の方は必見!**

言わずと知れたソフトバンクグループから、固定回線ならびに携帯回線の通信コスト削減のご提案です。施設内ならびに現場のニーズを聞き取り、その施設に一番合ったプランや、少しでも施設のコストを削減できるようさまざまなサービスのご提案も行っています。施設様は少しでもコストを削減できるよう、いろいろな方法を模索されていると思い

ますが、やはり通信コストの削減が一番ではないでしょうか。例えば、取引先の担当者様がソフトバンクモバイルをお使いで、施設様の固定回線から発信した場合、ソフトバンクテレコムであれば通信費の削減になります。もし、取引先の担当者様の携帯電話がソフトバンクモバイル(発信時にプブと聞こえる)なら、通信コスト削減の可能性が多いにあると思います。